

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2016-6122(P2016-6122A)

【公開日】平成28年1月14日(2016.1.14)

【年通号数】公開・登録公報2016-003

【出願番号】特願2015-189533(P2015-189533)

【国際特許分類】

C 07 C 233/05 (2006.01)

C 08 L 101/00 (2006.01)

C 08 K 5/20 (2006.01)

C 08 L 23/00 (2006.01)

C 08 L 25/06 (2006.01)

【F I】

C 07 C 233/05

C 08 L 101/00

C 08 K 5/20

C 08 L 23/00

C 08 L 25/06

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日(2016.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

全ての精製酸およびこの精製酸から導かれた本発明に係る精製アミドは先行日本特許：特公昭48-13935号公報の3～10よりも大幅に低いヨウ素価を有している。

本発明の実施態様の一部を以下の項目1～12に列記する。

[1]

式I：

R-CO-NH₂

(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有し且つR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)

の分岐第一脂肪酸アミド混合物であって、前記分岐第一脂肪酸アミド混合物がゼオライト触媒を使用することを含む方法によって得られる分岐第一脂肪酸混合物から導かれる、前記脂肪酸アミド混合物。

[2]

前記R-CO-NH₂分子の少なくとも70質量%がモノアルキル分岐を有する項目1に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[3]

前記R-CO-NH₂分子の20質量%未満が多アルキル分岐を有する項目1又は2に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[4]

Rが13～23個の炭素原子を有する項目1～3のいずれか1項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[5]

前記モノアルキル分岐が、メチル、エチル、プロピル又はそれらの混合物である項目1～4のいずれか1項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[6]

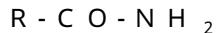
前記モノアルキル分岐が、少なくとも80%がメチルである項目5に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[7]

100g当たり2.8gヨウ素以下のヨウ素価を有する項目1～7のいずれか1項に記載の分岐第一脂肪酸アミド。

[8]

式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐第一脂肪酸アミドのポリマー中のスリップ剤および/又は抗ブロッキング剤としての利用法。

[9]

式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐第一脂肪酸アミドのポリマー中の離型剤としての利用法。

[10]

単層および共押出しのポリオレフィンフィルムのスリップ性を増大させそしてブロッキングを低減させる方法であって、式I：



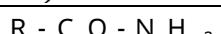
(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐第一脂肪酸アミドを含有するポリマー組成物から前記フィルムおよびシートを製造する工程を含む、前記方法。

[11]

ポリマー組成物であって、

(A) 50～99.98質量%のポリオレフィンポリマー、および

(B) 0.02～3質量%の式I：



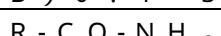
(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐第一脂肪酸アミドを含有する、前記組成物。

[12]

ポリマー組成物であって、

(A) 50～99.9質量%のポリスチレンポリマー、および

(B) 0.1～3質量%の式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐第一脂肪酸アミドを含有する、前記組成物。

を含有する、前記組成物。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

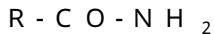
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

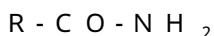
式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の0質量%より多く25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物のポリマー中のスリップ剤および/又は抗ブロッキング剤としての利用法。

【請求項2】

式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の0質量%より多く25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物のポリマー中の離型剤としての利用法。

【請求項3】

単層および共押出しのポリオレフィンフィルムのスリップ性を増大させそしてブロッキングを低減させる方法であって、式I：



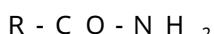
(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の0質量%より多く25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物を含有するポリマー組成物から前記フィルムおよびシートを製造する工程を含む、前記方法。

【請求項4】

ポリマー組成物であって、

(A) 50～99.98質量%のポリオレフィンポリマー、および

(B) 0.02～3質量%の式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の0質量%より多く25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物

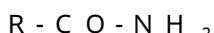
を含有する、前記組成物。

【請求項5】

ポリマー組成物であって、

(A) 50～99.9質量%のポリスチレンポリマー、および

(B) 0.1～3質量%の式I：



(但し、Rは11～23個の炭素原子を有する飽和、分岐炭化水素鎖で、R-CO-NH₂分子の少なくとも60質量%がモノアルキル分岐を有しそしてR-CO-NH₂分子の0質量%より多く25質量%未満が多アルキル分岐を有する。)

の分岐、飽和、第一脂肪酸アミド混合物

を含有する、前記組成物。

【請求項6】

前記ポリスチレンポリマーが、スチレンのポリマー又はコモノマーとスチレンのポリマーを含む、請求項 5 に記載のポリマー組成物。

【請求項 7】

前記ポリスチレンポリマーが、ハイインパクトポリスチレン(HIPS)、汎用の多目的ポリスチレンポリマー(GPPS)、アクリロニトリルブタジエンスチレン(ABS)、又はスチレンアクリロニトリル(SAN)を含む、請求項 5 に記載のポリマー組成物。

【請求項 8】

前記組成物が、成形品の形である、請求項 5 ~ 7 のいずれか一項に記載のポリマー組成物。

【請求項 9】

前記成形品が、食品容器および皿、家具、家庭用品、CD ケース、ならびに化粧品容器から選択される、請求項 8 に記載のポリマー組成物。